

第 18 期
(平成 25 年度)

自 平成 25 年 4 月 1 日
至 平成 26 年 3 月 31 日

事 業 報 告 書

公益財団法人 神澤医学研究振興財団

目 次

[I] 第 18 期（平成 25 年度）事業報告	1
1 法人の概況	1
(1) 設立年月日	1
(2) 公益財団法人への移行	1
(3) 定款に定める目的	1
(4) 定款に定める事業内容	1
(5) 行政庁	1
(6) 主たる事務所	1
(7) 役員等に関する事項	1
(8) 職員に関する事項	3
2 事業の状況	4
(1) 事業の実施状況	4
(2) 重要な契約に関する事項	10
(3) 役員会等に関する事項（理事会、評議員会、選考委員会）	10
(4) 寄附財産に関する事項	11
(5) 株式保有	11
(6) 行政庁提出書類	11
(7) 登記に関する事項	11
3 法人の課題	11

[I] 第 18 期 (平成 25 年度) 事業報告

1 法人の概況

(1) 設立年月日

平成 9 年 6 月 27 日

(2) 公益財団法人への移行

平成 22 年 7 月 1 日

(3) 定款に定める目的

本財団は、周産期を中心とするリプロダクティブ・エイジ及び高・老年期の女性に発現する各種疾患に関する成因、予防、診断、治療等の多角的な研究の奨励等を行うことにより、医療・医学の発展を図り、もって国民の健康と福祉の向上に寄与することを目的とする。

(4) 定款に定める事業内容

定款に定める目的を達成するため、次の事業を行う。

- ① 研究の助成
- ② 海外留学助成
- ③ 優れた研究成果に対する褒賞
- ④ 講演会等の開催

(5) 行政庁

内閣府

(6) 主たる事務所

長野県松本市芳野 19 番 48 号

(7) 役員等に関する事項

- ① 理事（任期：平成 24 年 6 月 1 日～平成 26 年定時評議員会の日まで）・監事（任期：平成 22 年 7 月 1 日～平成 26 年定時評議員会の日まで）

平成 26 年 3 月 31 日現在

役 職	氏 名	勤 務	担 当 職 務 ・ 現 職
理 事 長	神澤 陸雄	非常勤	法人代表、業務の総理、 キッセイ薬品工業株式会社 代表取締役社長
常務理事	宮田 廣志	常 勤	総務、財務、事業
理 事	青野 敏博	非常勤	徳島大学名誉教授
理 事	大澤 仲昭	非常勤	藍野加齢医学研究所 所長
理 事	岡村 州博	非常勤	国家公務員共済組合連合会東北公済病院 院長
理 事	小川 秋實	非常勤	信州大学名誉教授
理 事	河邊 香月	非常勤	東京通信病院 名誉院長

役職	氏名	勤務	担当職務・現職
理事	鈴木 茂晴	非常勤	株式会社大和証券グループ本社 取締役会長
理事	高久 史麿	非常勤	日本医学会 会長
理事	武谷 雄二	非常勤	独立行政法人労働者健康福祉機構 理事長
理事	西澤 良記	非常勤	公立大学法人大阪市立大学 理事長兼学長
監事	岩渕 道男	非常勤	業務監査、会計監査 新日本有限責任監査法人松本事務所長公認会計士
監事	田中 齋治	非常勤	業務監査、会計監査 田中齋治法律事務所 弁護士

(注) 定款第 38 条により役員報酬(理事会の出席等に対する報酬)を支給する。

② 評議員 (任期：平成 22 年 7 月 1 日～平成 26 年定時評議員会の日まで)

平成 26 年 3 月 31 日現在

役職	氏名	勤務	担当職務・現職
評議員	赤羽 増夫	非常勤	キッセイ薬品工業株式会社 専務取締役
評議員	岩下 光利	非常勤	杏林大学医学部産科婦人科学教室 教授
評議員	大内 尉義	非常勤	国家公務員共済組合連合会虎の門病院 病院長
評議員	北村 唯一	非常勤	医療法人社団自靖会 自靖会親水クリニック 院長
評議員	小西 郁生	非常勤	京都大学大学院医学研究科 婦人科学産科学講座 教授
評議員	小柳 知彦	非常勤	医療法人仁楡会 会長
評議員	中林 正雄	非常勤	社会福祉法人恩賜財団母子愛育会 総合母子保健センター 所長
評議員	西澤 理	非常勤	信州大学医学部泌尿器科学教室 教授
評議員	藤井 信吾	非常勤	公益財団法人田附興風会医学研究所 北野病院 院長
評議員	村田 雄二	非常勤	社会医療法人生長会ベルランド総合病院 周産期医療研究所所長・医学教育センター長
評議員	村松 正實	非常勤	埼玉医科大学 客員教授
評議員	吉村 典	非常勤	慶應義塾大学医学部産婦人科学教室 教授
評議員	和氣 徳夫	非常勤	九州大学環境発達医学研究センター研究推進部門ゲノム疫学分野 特任教授

(注) 定款第 20 条により評議員報酬(評議員会出席等に対する報酬)を支給する。

③ 選考委員（任期：平成25年4月1日～平成27年3月31日まで）

平成26年3月31日現在

役職	氏名	勤務	担当職務・現職
選考委員長	藤井 知行	非常勤	東京大学大学院医学系研究科 生殖・発達・加齢医学専攻 産婦人科学講座生殖内分泌学分野 教授
選考委員	後藤 百万	非常勤	名古屋大学大学院医学系研究科 病態外科学講座泌尿器科学 教授
選考委員	高柳 涼一	非常勤	九州大学大学院医学研究院 病態制御内科学 教授
選考委員	竹花 泰雄	非常勤	キッセイ薬品工業株式会社 取締役 研究企画部長
選考委員	水沼 英樹	非常勤	弘前大学大学院医学研究科 産科婦人科学講座 教授
選考委員	八重樫伸生	非常勤	東北大学大学院医学系研究科 婦人科学分野 教授
選考委員	楽木 宏実	非常勤	大阪大学大学院医学系研究科 内科学講座老年・腎臓内科学 教授

(8) 職員に関する事項

役職	氏名	担当職務	備考
事務局長	宮田 廣志	総務、財務、事業	兼務常務理事
職員	原田 裕子	経理、事務一般	

2 事業の状況

(1) 事業の実施状況

平成25年4月1日より平成26年3月31日までの第18期(平成25年度)の事業として、定款第3条に定める目的を達成するため、第4条に定める以下の事業を実施した。

① 研究助成事業

研究助成は国内の研究機関で対象研究に従事する満41才未満の研究者を対象とした。

推薦は、総合大学では大学院研究科長、学部長、研究所長、単科大学では学長、その他の医学研究機関では代表責任者(合計103名)および当財団が指定した産科、婦人科系教室の主任教授(77名)、ならびに当財団の理事、評議員に依頼した。

さらに、学会誌(日本産科婦人科学会雑誌、日本老年医学会雑誌、日本泌尿器科学会雑誌)、商業専門誌(老年医学、医学のあゆみ、周産期医学)、および当財団のホームページに募集要項を掲載して募集を行った。

応募者を当財団の選考委員会で選考し理事会において審議して交付者を決定した(交付者は6頁掲載のとおり)。

平成25年度研究助成金応募者は50名、交付者は10名で、採択率は20.0%であった。

② 海外留学助成事業

海外留学助成は海外の研究機関で対象研究に従事するため留学する満41才未満の研究者を対象とした。

推薦は、総合大学では大学院研究科長、学部長、研究所長、単科大学では学長、その他の医学研究機関では代表責任者(合計103名)および当財団が指定した産科、婦人科系教室の主任教授(77名)、ならびに当財団の理事、評議員に依頼した。

さらに、学会誌(日本産科婦人科学会雑誌、日本老年医学会雑誌、日本泌尿器科学会雑誌)、商業専門誌(老年医学、医学のあゆみ、周産期医学)、および当財団のホームページに募集要項を掲載して募集を行った。

応募者を当財団の選考委員会で選考し理事会において審議して交付者を決定した(交付者は7頁掲載のとおり)。

平成25年度海外留学助成金応募者は16名、交付者は4名で、採択率は25.0%であった。

③ 研究褒賞(神澤医学賞)事業

対象研究領域において、先見的、独創的研究により顕著な功績をあげた研究者を対象とし、推薦は、当財団が指定した10学会(日本産科婦人科学会、日本周産期・新生児医学会、日本受精着床学会、日本女性医学学会、日本生殖医学会、日本先天異常学会、日本妊娠高血圧学会、日本泌尿器科学会、日本母性衛生学会、日本老年医学会)の代表責任者および当財団の理事、評議員に依頼した。

応募者を当財団の選考委員会で選考し、理事会において審議して交付者を決定した(交付者は7頁掲載のとおり)。

平成25年度神澤医学賞応募者3名、交付者は1名で採択率は33.3%であった。

④ 講演会の開催

平成 23 年度研究助成金交付者 10 名による研究成果発表、および平成 24 年度神澤医学賞受賞者による講演を内容とする第 15 回(平成 25 年度) 講演会を以下のとおり実施した(参加者数 68 名)。

日	時	平成 25 年 6 月 7 日 (金) 17 : 50 ~ 21 : 00
会	場	ホテルオークラ本館 2 階オークルルーム 東京都港区虎ノ門 2-10-4
プログラム		8~9 頁掲載のとおり

公益財団法人 神澤医学研究振興財団
平成 25 年度(第 17 回) 研究助成金交付対象者

1 件 100 万円

主たる研究者名 役 職	研究機関名 科・教室名	研 究 テ ー マ
小野寺 康仁 助教	北海道大学大学院医学研究科 生化学講座分子生物学分野	糖の取込み及び代謝の異常による乳腺上皮細胞の癌化メカニズム
神吉 昭子 助教	信州大学大学院医学系研究科 循環病態学講座	閉経後代謝異常における、アドレノメデュリン — RAMP2 システムの病態生理学的意義
河村 七美 特任講師	聖マリアンナ医科大学 高度生殖医療技術開発講座	初期卵胞発育を制御する因子の網羅的同定とその臨床応用
木村 郁夫 助教	京都大学大学院薬学研究科 薬理ゲノミクス分野	新規細胞膜上、女性ステロイドホルモン受容体による個体レベルでの生理病態機構の解明と創薬応用
成瀬 勝彦 助教・産科医長	奈良県立医科大学 産婦人科学教室	妊娠合併症の成因に関わるアディポサイトカインと自然炎症因子動態のゲノムワイド解析
長谷川 潤一 講師	昭和大学医学部 産婦人科学講座	胎盤早期剥離および前置胎盤の出血の予知に関する研究
林 幹人 助教	東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科 分子情報伝達学	閉経後骨粗鬆症におけるセマフォリン 3A の役割
平田 哲也 助教	東京大学医学部附属病院 女性外科	子宮内膜症上皮細胞を用いた子宮内膜症発生、慢性炎症、癌化に関するジェネティック、エピジェネティックな遺伝子発現動態の網羅的解析
藤原 章雄 助教	熊本大学大学院 生命科学研究部 細胞病理学分野	卵巣ガン治療への応用を目指したマクロファージ活性化制御作用を有する天然物由来低分子化合物の既知抗ガン剤との併用効果の検討
森崎 菜穂 研究員	国立成育医療研究センター 研究所 成育政策科学研究部	日米データから算出する日本人の適切な妊娠中の食生活と体重増加量

(五十音順、敬称略)

公益財団法人 神澤医学研究振興財団
平成 25 年度(第 16 回) 海外留学助成金交付対象者

1 件 50 万円

研究者名 役 職	留学先研究機関名 期間	研 究 テ ー マ
千草 義継 京都大学大学院医学研究科 器官外科学婦人科学講座産科学教室 大学院生	The University of Texas, Southwestern Medical Center at Dallas U. S. A. 2014. 4. 1 ~ 2016. 3. 31	胎盤および羊膜における酸化ストレス防御機構 (Nrf2 system) の解明
宮部 千恵 東京医科大学 皮膚科学教室 臨床研究医	Harvard Medical School Massachusetts General Hospital, Division of Rheumatology, Allergy and Immunology U. S. A. 2013. 9. 1 ~ 2016. 8. 31	血管炎モデルマウスを用いた大動脈炎症候群における脂質メディエーターを介した発症機序の解明および新規治療法開発
八戸 敏史 順天堂大学医学部 呼吸器内科学講座 助 教	Harvard Medical School, Massachusetts General Hospital Cancer center U. S. A. 2013. 10. 1 ~ 2016. 9. 30	血中循環がん細胞のエピジェネティクスな機能的解析に基づいた、乳がん転移制御療法の開発
四元 房典 福岡大学医学部 産婦人科学教室 講 師	Sanford-Burnham Medical Research Institute (Prof. William B. Stallcup Laboratory) U. S. A. 2012. 11. 1 ~ 2014. 10. 31	乳癌微小環境における血管新生の分子機構の解明

(五十音順、敬称略)

公益財団法人 神澤医学研究振興財団
平成 25 年度(第 16 回)神澤医学賞交付対象者

1 件 300 万円

研究者名 役 職	研究機関名 科・教室名	研 究 テ ー マ
園田 顕三 講 師	九州大学病院 産科婦人科	RCAS1 をターゲットとした新たながん分子標的治療の開発

(敬称略)

公益財団法人 神澤医学研究振興財団 第15回講演会

日 時 平成25年6月7日(金) 17:50~21:00
場 所 ホテルオークラ 本館2階 オークルーム
東京都港区虎ノ門2-10-4
(TEL 03-3582-0111)

— プログラム —

I. 開会挨拶 17:50~17:55

理事長 キッセイ薬品工業株式会社 代表取締役社長 神澤 陸雄

II. 第15回 助成研究発表 17:55~18:40

司 会 理事 藍野加齢医学研究所 所長 大澤 仲昭

〈1〉 出産・加齢・エストロゲン低下の女性腹圧性尿失禁に及ぼす影響に関する研究
北海道大学病院泌尿器科 橘田 岳也

〈2〉 妊娠高血圧症候群の成因へのエンドグリンの関与の解明 ~可溶性エンドグリン産生阻害剤を用いた重症型発症予防法の確立にむけて~
名古屋大学医学部附属病院産婦人科 小谷 友美

〈3〉 妊娠糖尿病における網膜症の進行機序解明と治療・検査への応用
三重大学医学部附属病院眼科学教室 杉本 昌彦

〈4〉 線維筋痛症の病態メカニズム解明に関する多角的研究
名古屋大学環境医学研究所神経系分野 II 田口 徹

〈5〉 妊娠期薬物服用による周産期神経発達異常の誘発メカニズム解析および毒性スクリーニング系の確立
自治医科大学医学部薬理学講座分子薬理学部門 土屋 裕義

18:40～19:25

司 会 評議員 九州大学環境発達医学研究センター研究推進部門ゲノム疫学分野
特任教授 和氣 徳夫

〈6〉 進行卵巣癌におけるがん細胞とマクロファージの細胞間相互作用を標的とした治療法の開発

熊本大学大学院生命科学研究部細胞病理学 菰原 義弘

〈7〉 癌幹細胞とミエロイド細胞相互作用に着目した乳癌の発がん特性と治療抵抗性機構の解析

北海道大学遺伝子病制御研究所附属感染癌研究センター 地主 将久

〈8〉 卵のクオリティーを評価する新たなバイオマーカーの開発と良質な卵の発育メカニズムの解明

福井大学医学部医学科生命情報医科学講座分子生体情報学領域 水谷 哲也

〈9〉 ヒト生命萌芽の分子機構の解明 ～着床前期特異的新規遺伝子 *Hmgpi* の初期胚発生への関与～

慶應義塾大学医学部婦人科学教室 山田 満稔

〈10〉 癒着胎盤の診断におけるエラストグラムの有用性の検討

秋田大学大学院医学研究科医学専攻機能展開医学系産婦人科学講座 三浦 広志

III. 第15回 神澤医学賞贈呈式

19:25～19:30

IV. 第15回 神澤医学賞受賞講演

19:30～20:00

司 会 評議員 杏林大学医学部産科婦人科学 教授 岩下 光利

子宮間葉系腫瘍の鑑別に対する新規バイオマーカーの開発

信州大学医学部医学科免疫制御学講座 准教授 林 琢磨

V. 懇親会

20:00～21:00

(2) 重要な契約に関する事項

なし

(3) 役員会等に関する事項（理事会、評議員会、選考委員会）

① 理事会

第 51 回 理事会(平成 25 年 5 月 21 日)

・第 1 号報告

寄附金 (1,600 万円)受領の件：全員了承

・第 2 号報告

代表理事及び業務執行理事の職務執行状況の件：全員了承

・第 1 号議案

第 17 期(平成 24 年度)事業報告書および決算に関する計算書類承認の件：可決

・第 2 号議案

第 47 回評議員会開催の件：可決

第 52 回 理事会(平成 25 年 12 月 9 日)

・第 1 号報告

代表理事及び業務執行理事の職務執行状況の件：全員了承

・第 1 号議案

平成 25 年度助成金、褒賞金の交付対象者並びに交付金額承認の件：可決

・第 2 号議案

選考委員会選考内規改正の件：修正、可決

・第 3 号議案

第 48 回評議員会開催の件：可決

第 53 回 理事会(平成 26 年 3 月 11 日)

・第 1 号議案

平成 26 年度事業計画および収支予算承認の件：可決

② 評議員会

第 47 回 評議員会(平成 25 年 6 月 7 日)

・第 1 号報告

第 17 期(平成 24 年度) 事業報告の件：全員了承

・第 1 号議案

第 17 期(平成 24 年度)決算に関わる計算書類承認の件：可決

第 48 回 評議員会(平成 26 年 3 月 11 日)

・第 1 号報告

平成 26 年度事業計画および収支予算報告の件：全員了承

③ 選考委員会

第 18 回選考委員会(平成 25 年 11 月 20 日)

・第 1 号議案

平成 25 年度助成金、褒賞金交付対象者選考の件：研究助成金 10 名、海外留学助成金 4 名、神澤医学賞 1 名の交付候補者を選考し、理事会への上申を可決

・第 2 号議案

選考内規改訂の件：助成、褒賞の対象となる研究領域に関する件と、選考

委員と同一教室に所属する研究者からの応募受け入れならびにそれに伴う選考方法変更に関して選考内規を改訂することについて審議し、提案通り理事会への上申を可決

(4) 寄附財産に関する事項

キッセイ薬品工業株式会社より運用財産として1,600万円(平成25年4月9日)。

(5) 株式保有

当財団は基本財産としてキッセイ薬品工業株式会社の株式50万株を保有するが、キッセイ薬品工業株式会社の発行する全株式に対する割合は0.88%である。

(6) 行政庁提出書類

- ① 変更の届出(前任理事の補欠による新任理事選任:西澤良記、岡本州博)
(平成25年4月19日)
- ② 変更の届出(復興特別所得税法施行に伴う役員等報酬額の表記の変更)
(平成25年4月19日)
- ③ 第17期(平成24年度)事業報告書(平成25年6月24日)
- ④ 第17期(平成24年度)事業報告書の補正提出(平成25年11月1日)
- ⑤ 変更の届出(理事の退任:理事 櫻井孝穎の死亡による退任)(平成26年2月24日)
- ⑥ 第19期(平成26年度)事業計画書、収支予算書(平成26年3月28日)

(7) 登記に関する事項

- ① 理事の変更(平成25年4月9日)
- ② 理事の死亡(平成26年2月4日)

3 法人の課題

なし